

渡島・檜山地方の気象

平成22年3月（2010年）

函館海洋気象台

平成22年4月30日

◎ 気象概況

この期間の天気は周期的に変わり、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷が通過した影響でぐずついた天気の日が多く、特に20～21日は低気圧が発達しながら通過し、荒れた天気となった。

月平均気温は平年より低く、月降水量は一部を除き平年並～平年より多く、月間日照時間は平年並～平年より少なかった。

【上旬】

1日は冬型の気圧配置となり、曇で日本海側では雪が降った。2日は高気圧に覆われ、晴れた。3日は気圧の谷の中で、午前中は雪で、午後晴れた。4日は高気圧の縁辺で概ね晴れたが、曇った所もあった。5日は低気圧の通過により、雨か雪で昼前から概ね晴れた。6日は気圧の谷の通過により、曇った。7日は高気圧の縁辺で、概ね晴れた。8日は冬型の気圧配置となり、日本海側では曇で時々雪が降り、太平洋側では概ね晴れた。9日は気圧の谷の中で、曇った。10日は低気圧と寒気の影響で、雪が降った。

【中旬】

11日は高気圧の縁辺で、概ね晴れた。12日は低気圧の接近により、曇で雨の降った所があった。13日は低気圧の通過により、曇で所々で雨や雪が降った。乙部町潮見では8.0mmの日最大1時間降水量を観測し、3月における極値を更新した。14日は冬型の気圧配置となり、日本海側では曇で時々雪が降り、太平洋側では概ね晴れた。15日は低気圧の影響により雨や雪が降った。16日は冬型の気圧配置となり、概ね曇で雨や雪が降った所があった。17日は冬型の気圧配置が続き、曇で雪が降った所があった。18日～19日は気圧の谷の中で、曇で時々雪が降った。20日は低気圧の接近により、雨や雪が降った。

【下旬】

21日は低気圧が発達しながら通過し、雨や雪が降った。22日は冬型の気圧配置となり、曇で午後は晴れた。23日は低気圧の接近により、曇で雪が降った所があった。24日は高気圧に覆われ、晴れた。25日は低気圧の接近により、曇で雨や雪が降った所があった。26日は高気圧の縁辺で、概ね晴れた。27日は低気圧の通過より、雨や雪が降った。28日は冬型の気圧配置となり、日本海側では曇で、太平洋側では概ね晴れた。29日～30日は高気圧に覆われ、晴れた。31日は気圧の谷の中で、曇った。

気 温：各地点の月平均気温は-1.4～1.6℃で、平年差は-0.9～-0.5℃。

すべての観測点で平年より低く、特に八雲町八雲・松前・今金・八雲町熊石・厚沢部町鶉ではかなり低かった。

降 水 量：各地点の月降水量は20.0～191.0mmで、平年比は26～194%。

今金で平年よりかなり少なく、木古内・厚沢部町鶉・上ノ国町石崎では平年並で、そのほかの観測点では平年より多く、特に長万部・八雲町八雲・函館市川汲・七飯町大沼・江差ではかなり多く、八雲町八雲で観測した月降水量142.5mmは、3月における多い方からの極値を更新した。

日照時間：各地点の月間日照時間は69.7～134.7時間で、平年比は55～91%。

長万部・八雲町八雲・八雲町熊石では平年並で、そのほかの観測点では平年より少なく、特に函館市美原・せたな町瀬棚・江差ではかなり少なく、せたな町瀬棚で観測した月間日照時間69.7時間は、3月における少ない方からの極値を更新した。

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

	気温（℃）		降水量		日照時間		降雪量	月最深積雪（cm）
	月平均	平年差	月合計（mm）	平年比（%）	月合計（h）	平年比（%）	月合計（cm）	
函 館	0.4	-0.5	84.0	134	128.0	77	69	28
江 差	1.5	-0.7	99.5	163	73.5	55	17	5

（平年比・差は1971年から2000年までのデータで算出した平年値を用いて求めています。）

◎ 気象官署、特別地域気象観測所の極値更新表

函館および江差における3月の極値の更新はありません。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

《3月12日～13日、渡島地方》

概 況：低気圧が発達しながらサハリンを通過し、伴う寒冷前線が13日未明から明け方にかけて渡島地方を通過した。その後冬型の気圧配置となった。

気象現象名：強風

気象災害名：強風害

気象観測値：最低海面気圧（函館市美原） 1006.7hPa（13日02時46分）

最大風向・風速（函館市美原） 南南西14.0m/s（13日01時29分）

最大風向・風速（函館空港） 南西15.9m/s（13日02時43分）

最大瞬間風向・風速（函館市美原） 南南西26.7m/s（13日01時28分）

被害状況：函館市で強風のため住家や非住家の屋根のトタンが飛ばされるなど9件の被害。高圧電線が断線し、市内55世帯が約3時間停電。その他看板倒壊など3件。

《3月21日～21日、渡島地方》

概況：発達した低気圧が21日北海道を通過し、その後冬型の気圧配置が強まり西よりの強風となり荒れた天気となった。

気象現象名：強風、波浪

気象災害名：強風害、海上波浪害

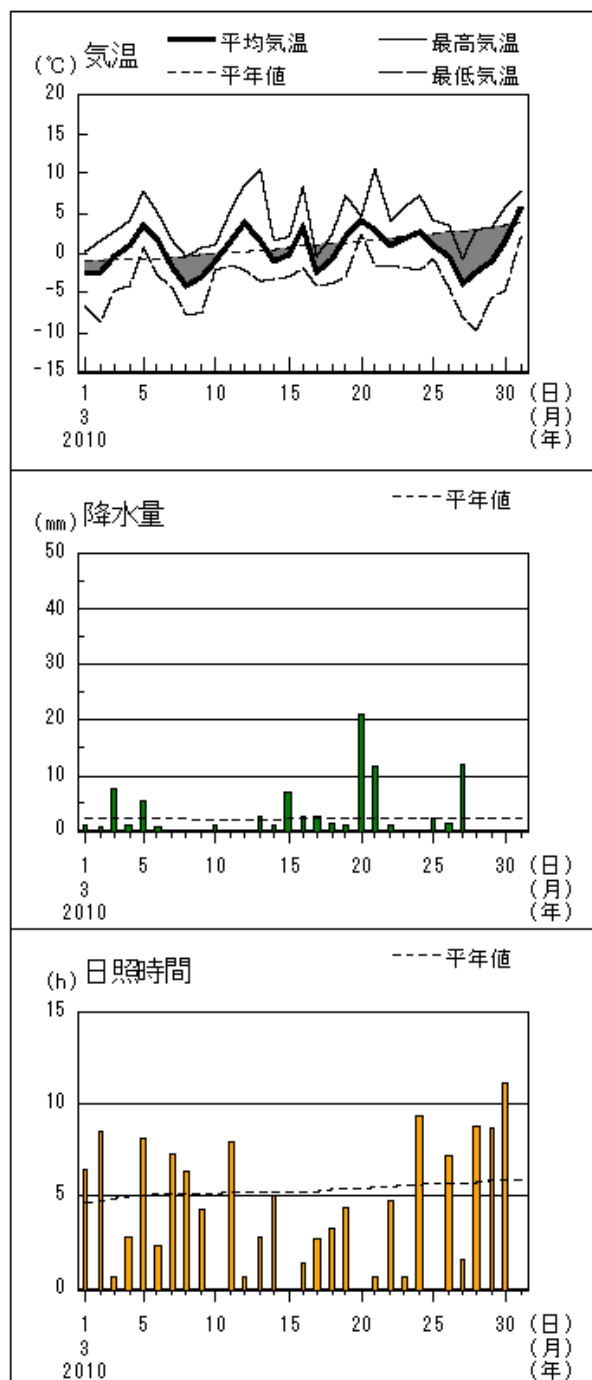
気象観測値：最低海面気圧（函館市美原）	983.4hPa（21日04時08分）
最大風向・風速（函館市美原）	南西17.4m/s（21日07時50分）
最大風向・風速（函館空港）	南西19.1m/s（21日07時55分）
最大瞬間風向・風速（函館市美原）	南西26.2m/s（21日07時48分）
最大瞬間風向・風速（函館空港）	南西26.7m/s（21日07時52分）
最大波高（松前）	速報値 7.3m（21日08時）
有義波高（松前）	速報値 4.3m（21日09時）

被害状況：函館市で住家や非住家の屋根が飛ばされるなど24件の被害。強風で電柱破損1件。電柱の絶縁体から電線が外れ漏電したため、市内419世帯が約1時間停電。その他街路灯破損5件、街路樹の倒木6件。森町で農業被害（営農施設）20棟。八雲町で農業被害（営農施設）13棟。航空は函館－羽田便2便欠航、函館－丘珠便2便欠航。JRは函館－八戸間2本運休、函館－札幌間4本に最大1時間の遅れ。フェリーは函館－大間間3便欠航、函館－青森間2便欠航。函館山ロープウェイ約5時間運航一時取止め。函館市電は強風のため電柱が傾いた影響で湯の川－駒場車庫前間一時運転見合わせ。

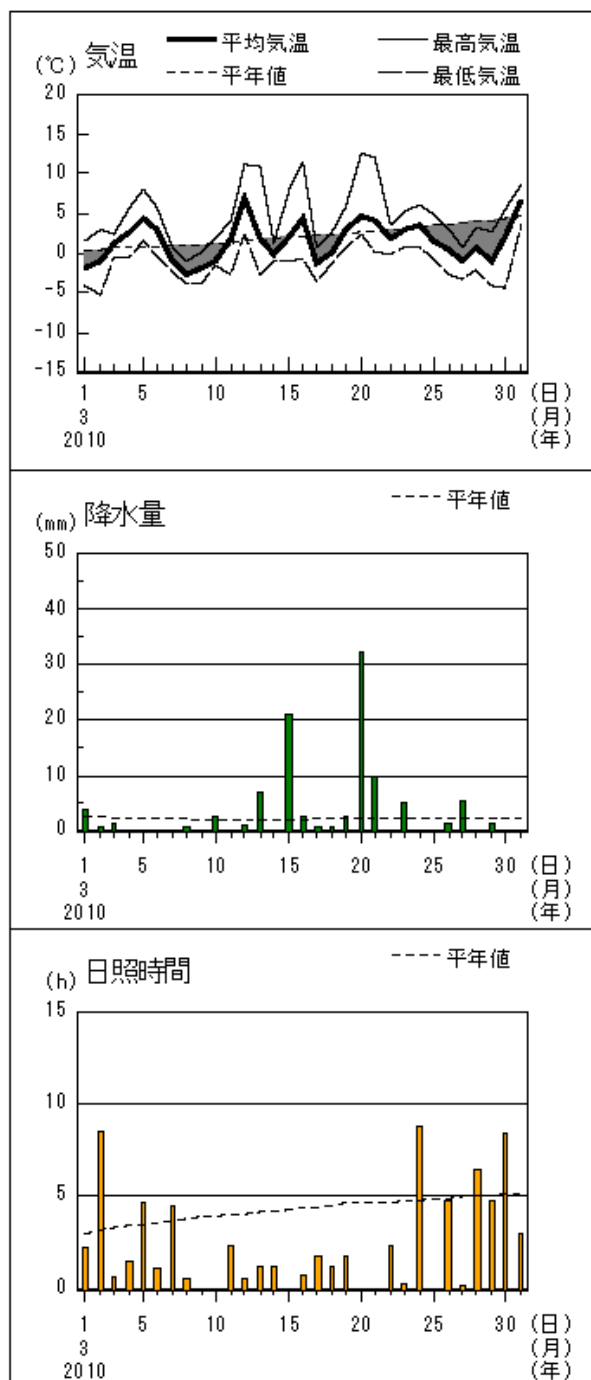
◎ 気象経過図（3月）

地上気象：2010年3月1日-2010年3月31日

函館



江差



◎ 気象分布図（3月）

注：以下の気象分布図は地域気象観測統計に基づき作成しているため、気象官署の函館および江差の値が異なる場合があります。

